

いじめについて

- ① 先般、いじめを受けて自殺した女学生の痛ましい事件が起きました。この事は、どこでも起こりうる話だと思います。報道で、アンケートによると、いじめがあったと答えた子供が、京都府が最高で90%を超えていました。その他の県は30%台でした。教育評論家の尾木直樹氏が指摘しておりましたが、京都府のアンケートの取り方は他県と違う。それは「イヤなことがあった」こともいじめと捉えたアンケートの調査の仕方であった。だからパーセントが上がっている。これが正しいと思うと言われておりました。いじめは、いじめる側が100%悪いと私は思っておりますが、鹿野小学校、中学校の実態はどうでしょうか。
- ② 11月3日、孫の文化祭を見に鹿野中学校と湖南学園へ行きました。鹿野中学校では、玄関を入ると廊下の壁に子供達のいろんな作品が展示され、体育館では同じ様に半面に作品と研究発表が展示され、後の半面で生徒達の発表等がされておりました。生徒数80数名本当に少なくてさみしいというのが第一印象、保護者の参加も30名足らずの人数でした。でも、生徒達は、元気一杯発表しておりました。午後は湖南学園へ行きました。今春卒業した子供達も招待されていたのでしょうか、10年生として参加し、メッセージを発表していました。1年生から9年生まで157名いるそうですが、演目の間には休憩もあり、その時は7年生から9年生の生徒が1年生や2・3年生でしょうか、一緒に遊んでいる光景もありました。最後は、1年生から9年生、157名が全員揃い英語と日本語による童謡等を歌い感動のフィナーレでした。鹿野も30年から分離型ですが、小中一貫校としてスタートする予定です。それぞれに問題はあるかも知れませんが、湖南学園の文化祭の一コマを見て期待を持ちました。